

静岡県の森林・林業職員

▶▶ 林業職の紹介と先輩からのメッセージ ◀◀



ふじのくに
森林の都
しずおか

静岡県で「森林との共生」を推進する行動力ある人材を求めています

静岡県が目指す「森林との共生」による持続可能な社会の実現

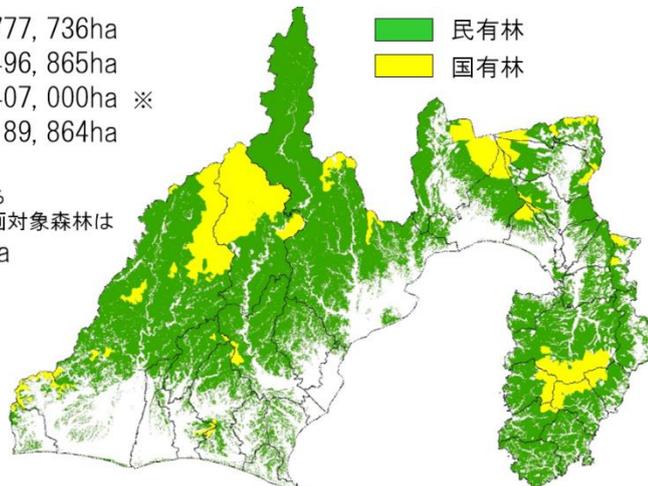


静岡県の恵まれた「場の力」

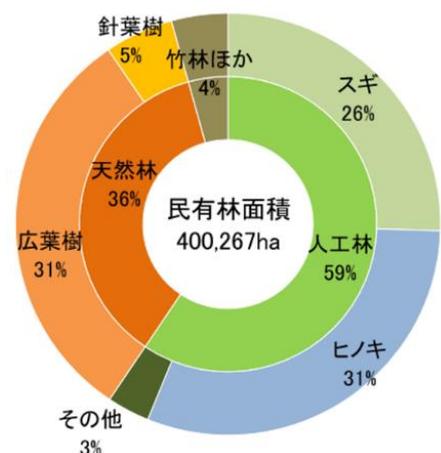
- **多様で豊かな森林**
海岸林から森林限界まで標高差は日本一、暖帯から亜寒帯までの人工・天然の多様な森林
- **豊富な森林資源**
スギ・ヒノキの人工林が民有林の6割近くを占め、そのうち木材として利用可能な森林が9割以上収穫期を迎えた資源の割合が全国平均より高い人工林には大きな可能性
- **全国屈指の交通ネットワーク、大都市圏に近接**
東西に走る高速道路・新幹線、南北をつなぐ交通網、海外へは清水港・富士山静岡空港

県土面積 777,736ha
 森林面積 496,865ha
 民有林 407,000ha ※
 国有林 89,864ha

※ 民有林のうち
 地域森林計画対象森林は
 400,267ha



民有林の樹種別面積比率(2021)



1 林業職の業務内容

【普及指導・林業振興】



林業経営体の指導



木材産業の振興
県産材利用の促進



治山・林道工事の
設計、積算、監督

【森林土木】



施設の点検パトロール

【環境保全・環境教育】



森林環境教育



自然環境の保全



データの解析

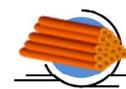
【研究開発】



現地調査

◆ 普及指導・林業振興

森林整備や木材生産に関する技術指導、事業者の経営指導、県産材利用の促進、森林病虫害対策など、森林資源を有効に活用し、林業・木材産業の活性化を図る業務



◆ 森林土木

計画策定、地元調整、設計・積算、施工管理など、森林の維持・造成を通じて県土を保全する治山工事、林業生産基盤である林道等の整備を行う業務



◆ 環境保全・環境教育

自然とのふれあい、自然環境の保全、生物多様性の確保や野生動植物の管理、森林環境教育などを進め、美しく豊かな森林環境を守り、活かしていく業務



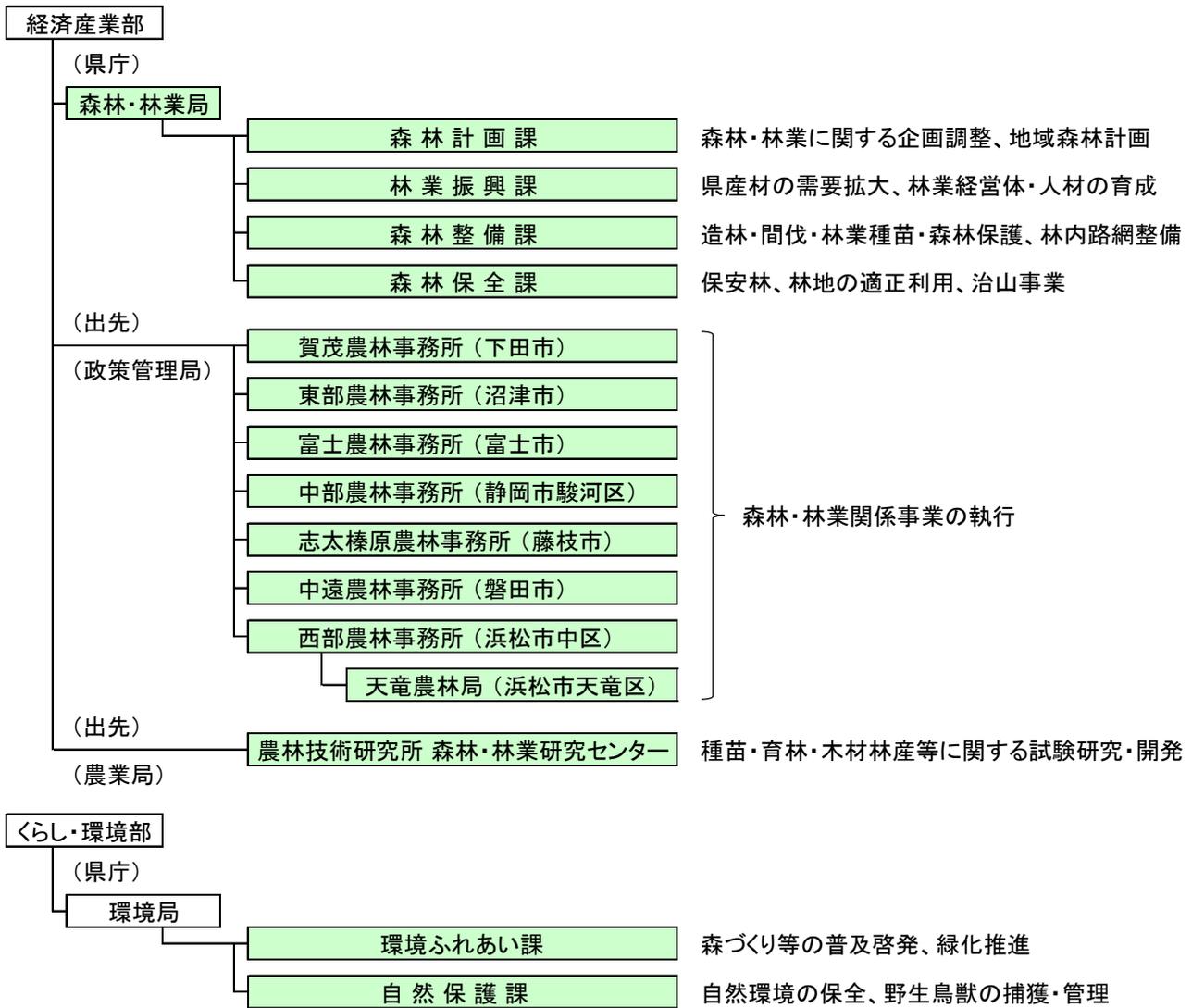
◆ 研究開発

森林育成や木材等に関する高度な技術の研究開発を行う業務

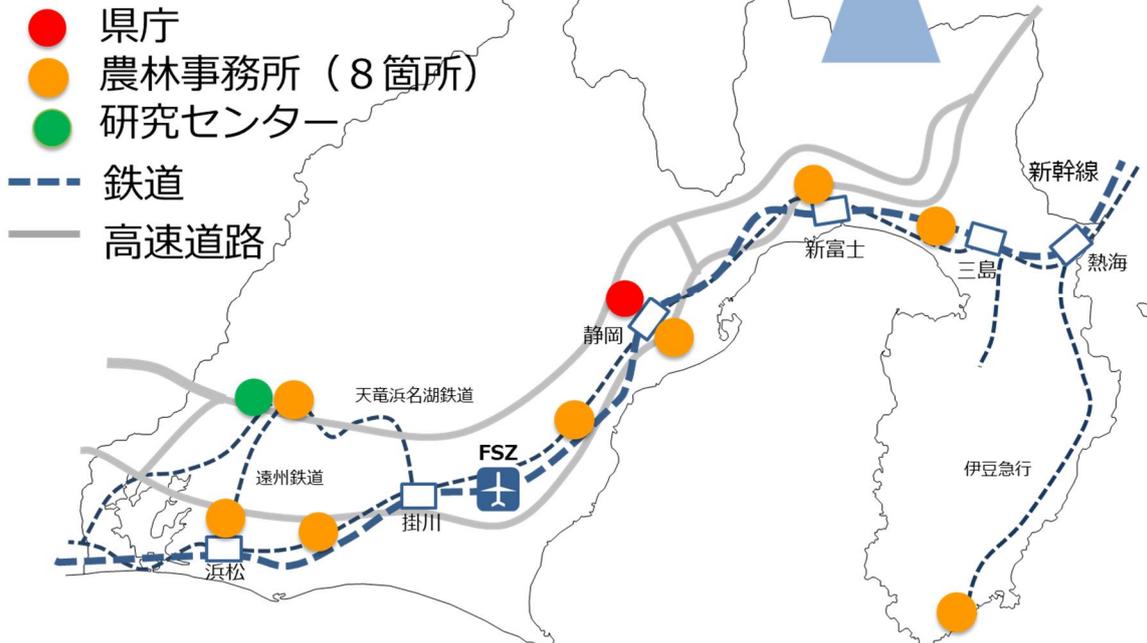


森林の機能は多様、林業職の仕事も多様

2 森林・林業関係の組織



勤務先



3 先輩からのメッセージ（1）

西部農林事務所天竜農林局 森林整備課 技師 見崎 夏楠子（2020年度採用・静岡県出身）

現在の仕事

森林整備課では森林整備・林業振興全般の業務を行っています。その中で私は、森の力再生事業などの補助金事務や、林業就業者の確保のため高校生に林業を紹介する講座を開催するなどの担い手育成に関する業務を主に行っています。

静岡県の林業職を選んだ理由

静岡県で生まれ育つ子どもたちが、豊かな自然を肌で感じ、ずっと守っていきたいと思えるようにしたいという気持ちと、大学で学んだことを活かしながら、地元である静岡県で働きたいとの思いから、県の林業職を選びました。

やりがいを感じたこと

事務やシステムの使い方など、分からなかったことが、周りの人に教えてもらったり自分で考えたりしながら少しずつできるようになって、逆に「これ教えてほしい」と頼られるようになったときに自分の成長を実感し、やりがいを感じています。

仕事でうれしかったこと

補助金で整備した森林がきれいになった様子を見ると、良かったと感じます。天竜材が使用された建物や製品を目にした時や、講座を受けた高校生が森林・林業関係に進学・就職したと聞いた時は、嬉しくて誇らしい気持ちになります。

職場の雰囲気

年齢、性別関係なく話しやすい方ばかりです。課内では個々にそれぞれ担当の業務がありますが、皆さん経験豊富なので何でもよく知っていて、分からないことは聞けば必ず教えてくれます。同性や同年代の職員も比較的多く、過ごしやすい職場です。

静岡県の森林・林業職員を目指す方へ

林業職は、林業振興、環境保全、治山、林道など、業務内容は多様で幅広いです。多くの人と関わり合いながら様々な業務を担当していく中で、学び続けられる職種であると思います。私たちと一緒に、静岡県の自然をより魅力的なものにしていきましょう。



東部農林事務所 治山課 技師 野村 佐和子（2021年度採用・千葉県出身）

現在の仕事

主な仕事は、治山工事や治山パトロールの計画・実施です。治山工事では、荒れた森林を元に戻すことを目的として、治山ダムと呼ばれる谷止工などを施工します。工事を受注した現場代理人と相談しながら施工を進めています。

静岡県の林業職を選んだ理由

静岡県に親族が住んでおり、幼い頃から定期的に訪れていたことから親しみを感じていたことに加え、出身県よりも森林率が高く、林業も盛んな静岡県に魅力を感じていました。そんな中、インターンシップに参加して、やりがいのある仕事内容や職場の雰囲気にとっても惹かれたので、静岡県を選びました。

やりがいを感じたこと

治山パトロールの際に、治山施設の周りが緑化して森林に戻っているのを見ると、今作っている治山施設も数十年後は緑に囲まれて森林に戻ると想像でき、とてもやりがいを感じますし、時間が経つのが楽しみになります。

仕事でうれしかったこと

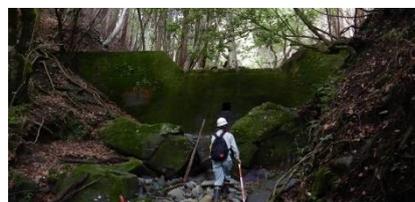
初めて担当した治山ダムの施工で、6か月の工事を経て完成したとき、設計に書かれているとおりのコンクリートダムができていて、とても感動しました。上司や現場代理人と相談しながら苦労して作ったので、とても嬉しく思いました。

休日の過ごし方

静岡県の東部地域は、熱海や修善寺など観光地が多いので、時々出かけて気分をリフレッシュしています。職場には東部出身の方もいるので、地元の美味しいお店やおすすめのスポットなどを教えてもらっています。まだまだ訪れたことのない場所ばかりなので、異動までにより多くの場所を訪れて地域のことを知りたいと思っています。

静岡県の森林・林業職員を目指す方へ

静岡県の林業職に興味のある方は、説明会やインターンシップに参加するのがおすすめです。仕事の内容や職場の雰囲気を直に感じることができ、就職後、どのように勤務するのか想像しやすいと思います。



3 先輩からのメッセージ (2)

環境ふれあい課 自然ふれあい班 技師 北浦 慈基 (2020年度採用・静岡県出身)

現在の仕事

県民の皆様が身近な自然にふれあうことができるよう、県有林や自然ふれあい施設の整備・管理を行っています。また、自然体験プログラムの開催や企業と連携した森づくり活動など、幅広い仕事を担当しています。

静岡県の林業職を選んだ理由

幼い頃から自然環境への関心が高く、森林に関わる仕事をしたいと思っていました。林業職は、林業・木材産業の振興、林道・治山事業、自然環境の保全など、森林の幅広い分野に携わることができるため、魅力的だと感じ志望しました。

やりがいを感じたこと

仕事内容が毎年変わる中で、多様な仕事を通して多くの方々に貢献できることに充実感や達成感を感じます。また、自身が作成した計画や方針が、県の施策の一つとして反映されることにやりがいを感じます。

入庁前とのギャップ

入庁前は、主に林業経営体の森林整備や木材販売の支援などの仕事をしていたのですが、環境ふれあい課の仕事は、地域の方々やボランティア団体、企業などとの密に連携した仕事が多いことに驚きました。様々な立場・考え方を持つ方々と協力して仕事をするのが楽しく、やりがいを感じています。

休日の過ごし方

大学から始めた「アルティメット」というスポーツを社会人のチームで続けており、大会で勝利するため、日々練習に取り組んでいます。また、旅行や食べることが好きなので、県内各地を巡って休日を楽しんでいます。

静岡県の森林・林業職員を目指す方へ

林業職は、県内各地でソフトからハードまで多岐に渡って様々な業務に携わることができます。また、多様な方々と協力しながら、たくさんの人に貢献できるやりがいのある仕事が多くあるので、静岡県の森林・林業に関心がある方は、ぜひ静岡県の林業職を目指してください。皆さんと働ける日を楽しみにしています。



農林技術研究所 森林・林業研究センター 研究員 稲葉 大地 (2019年度採用・静岡県出身)

現在の仕事

木材の乾燥しやすさを選別する技術、県産材の構造用途への利用検討、用材としての早生樹の評価、携帯型ヤング係数測定器の開発などを研究しています。そのほか、民間からの技術相談・依頼試験、研究成果の報告、普及活動を行っています。

やりがいを感じたこと

木材の分野は広く、先人たちが技術やノウハウを継承している職人技の部分が多く残っています。一方、感覚の数値化や IT 分野と掛け合わせることで省力化できることもあります。長い歴史のある林業の一助となるような技術開発や研究が行えることは、とてもやりがいのある仕事だと感じています。

仕事でうれしかったこと

県内の林業関係者だけでなく、様々な方とお会いする機会があることです。当センターに来るまで関わったことのない分野でしたが、その道のプロの方と一緒に研究やお話ができる機会は得がたいものだと思います。

職場の雰囲気

各研究員は大部屋に一席と、別棟に研究室があります。日中は特定の方と仕事をしていることが多いです。気さくな方が多く、やってみる？と声を掛けてくださることもあり、雑談の中で悩み相談やアドバイスをいただいています。

入庁前とのギャップ

入庁前は生物分野の研究を行っていましたが、今は木質物理・構造分野の研究を行っていますので、研究を希望しても、ほぼゼロベースからの担当分野となることもあります。また、税金や企業からのお金をいただいて研究を行っていますので、県民・企業に資するものかに主眼を置く点で、学生研究とは差があります。

静岡県の森林・林業職員を目指す方へ

林業職として専門的な業務に関しては、研修はもちろん、先輩・上司と相談しながら進めていくことでだんだんとスキルが身につくと思います。私自身まだまだ学びながらですので、一緒に林業分野を盛り上げていきましょう。



4 先輩の入庁ストーリー

富士農林事務所 森林整備課 技師 藤田 愛矢 (2022年度採用・静岡県出身)

現在の仕事

森林整備を促進する補助金業務を主に担当しており、申請書の内容の確認や適正に施業が行われているか確認する現場検査を行っています。そのほか、環境教育や森づくりに関すること、森林認証に関することなどを担当しています。

静岡県の林業職を選んだ理由

大学で学んだ木材の知識を活かし、地元である静岡県の力になりたいという思いから静岡県の林業職を目指しました。林業職は、森林整備から木材利用まで様々な面から森林に携わることができることも、とても魅力的に感じました。

採用試験の勉強を始めた時期

本格的に勉強を始めたのは、大学3年生の10月頃です。専門試験の対策は1月頃から始めました。部活や卒業論文、一般企業の選考との両立が難しく、不安が残るまま試験を受けたので、もっと早めに勉強を始めるべきだったと思っています。

1次筆記試験の対策

教養科目は、配点が高く、結果が出やすい数的処理を優先的に勉強しました。専門科目は、国家公務員試験の過去問を解き、選択肢の根拠となる情報を「森林・林業白書」や「森林・林業実務必携」から探し、ノートにまとめていました。

2次面接試験で心掛けたこと

事前に提出する面接シートは、内容を先生や友人に一度確認してもらいました。面接試験当日は、ゆっくり落ち着いて話すことを心掛けました。面接シートに書いたことを中心に質問されるので、事前に模擬面接を行い、慣れておくことで、当日はスムーズに話せると思います。

静岡県の森林・林業職員を目指す方へ

静岡県の林業職の仕事はとても幅広く、大学で学んだことを直接活かすことはできないかもしれませんが、日々学ぶことができる魅力的な職種だと思います。仕事の中で自然に触れる機会もあるので、楽しみながら働くことができると思います。自然が好きな方は、ぜひ静岡県の林業職を目指してください。皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。



林業振興課 県産材利用班 主任 林 晃大 (2020年度採用・大阪府出身)

現在の仕事

主に住宅・非住宅分野における県産材製品の利用拡大に関する業務を担当しています。補助事業による支援や県産材利用の県民理解の醸成により、住宅分野の県産材のシェア拡大、非住宅分野での新規需要の獲得などに努めています。

静岡県の林業職を選んだ理由

特定の地域に根差して、安定的に環境に関する仕事ができる職種として林業職を志望していました。「森ではたらく」という書籍を読んだ際、静岡県で意欲的に仕事をしている県林業職員の姿に共感し、転職を決断しました。

働きながらの試験勉強はどうだったか

出張や急ぎの仕事に左右され、思うように勉強時間をとれなかったため、苦手分野や配点が高い分野を中心に勉強しました。平日は帰宅前に喫茶店で勉強するなどルーティン化して、モチベーションを保つことも心掛けました。

1次筆記試験の対策

教養は数的処理や判断推理など配点が高く結果が出やすい科目を優先的に毎日勉強するようにしました。専門は国家公務員試験の過去問をカテゴリに分け、「森林・林業白書」や「森林・林業実務必携」の関連箇所を重点的に勉強しました。

2次面接試験で心掛けたこと

なぜ静岡県で働きたいのか、林業職員として何がしたいのか、職務経験からの自身の長所短所などの想定問答はひと通り考えました。当日は、自分の言葉で話すことが大事だと考え、思ったことを素直に話すようにしました。これまでの自分を振り返ったり、現職の県職員から話を伺ったりして、自身の考えが整理された良い機会になったと感じます。

静岡県の森林・林業職員を目指す方へ

林業職の業務内容はソフトからハードまで多岐に渡りながらも、いずれも「環境」に関わる仕事であり、環境に良い仕事をしたい自分にとって最適な職種だと感じています。「受け継ぎ、受け継がれ」の時間感覚を持つ森林・林業の世界で、静岡県に根差して仕事をする面白みを一緒に味わえる仲間が増えることを楽しみにしています。

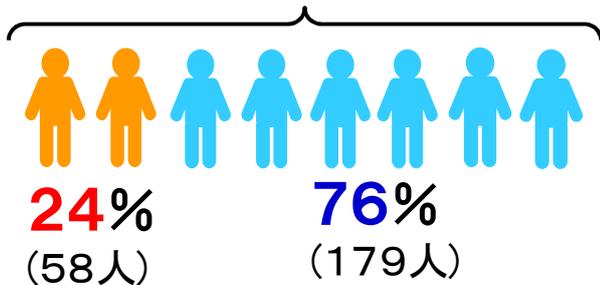


5 数値で見る林業職

林業職員の人数

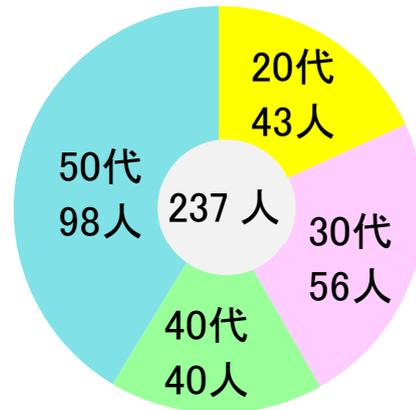
林業職員は 237 人(2023 年度)
約 1/4 が女性、女性職員は年々増加しています

237人



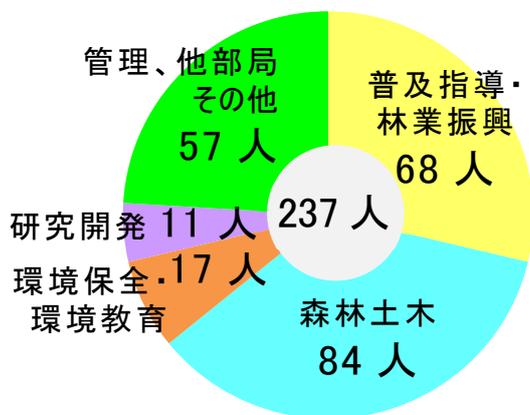
若手職員の割合

林業職員全体の4割は 20 代・30 代、新規採用職員には相談しやすい職場環境となっています



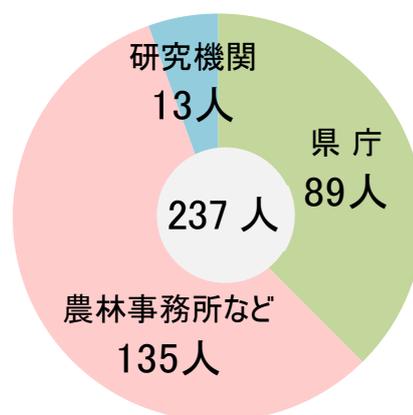
林業職員が担当する業務内容

林業職員が主に担当する業務内容で区分しています
区分した複数の業務に携わる職員もいます



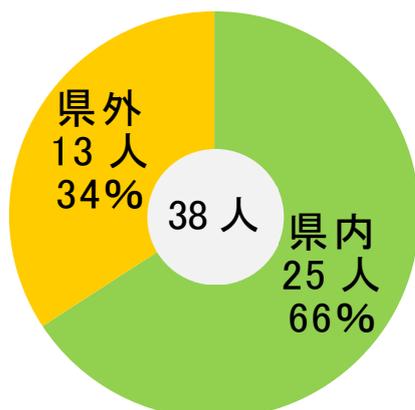
林業職員の勤務先

89 人が県庁に、135 人が農林事務所などの出先機関に、13 人が研究機関に勤務しています



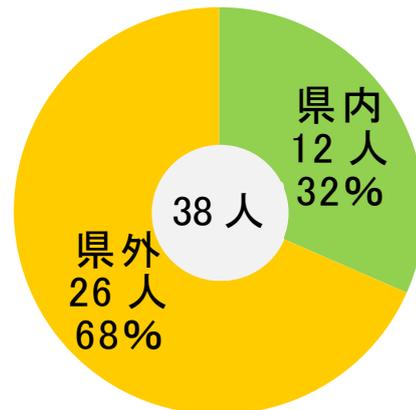
採用者の県外出身の割合

過去5年間(2019~2023)に採用された林業職員の1/3は県外出身者です



採用者の県外大学出身の割合

過去5年間(2019~2023)に採用された林業職員の2/3は県外大学出身者です



topics 森林・林業関係の取組

ふじのくに林業成長産業化プロジェクト

林業の成長産業化に向けて、低コスト主伐・再造林の促進、効率的に木材を搬出する供給基盤の整備、林業就業者の確保、森林技術者の育成などに取り組んでいます



効率的に木材を搬出する基幹的作業道や架線集材施設

FAOIプロジェクト

森林のデジタル情報基盤整備や林業現場への先端技術の実装に取り組む森林・林業イノベーションプロジェクト(Forestry Action Open Innovation プロジェクト)を進めています



ドローンを使った造林地の管理

森の力再生事業

森林(もり)づくり県民税を財源とした「森の力再生事業」により、公益性が高いにもかかわらず、森林所有者が整備できない荒廃した森林の整備を実施しています



森の力再生事業により下層植生が回復した森林

ふじのくに森の防潮堤づくり

遠州灘海岸で、津波に対する多重防御の一翼を担う防潮堤の整備に合わせ、地域の自然環境と調和し、県民の憩いの場ともなる海岸防災林の機能強化を実施しています



遠州灘海岸の「ふじのくに森の防潮堤づくり」事業

住んでよし しずおか木の家推進事業

しずおか優良木材やJAS木材製品を使用した住宅の建築、店舗や事務所などの木造化・木質化を支援し、品質の確かな県産材製品の利用を進めています



県産材製品を使って建てられた店舗 (tayutau-HUT)

南アルプスの自然環境保全

南アルプスではニホンジカの食害により高山植物の消失や衰退が起きていますが、ドローンによる調査や防護柵の設置など、美しい自然環境を守る保全活動に取り組んでいます



ドローンで撮影したニホンジカの食害を逃れたお花畑



お問合せ

静岡県 経済産業部 森林・林業局 森林計画課
(担当：本間)

〒420-8601 静岡市葵区追手町 9 - 6

TEL : 054-221-2422

E-mail : hiroyasu1_honma@pref.shizuoka.lg.jp

